

国語

(5月18日、19日配布)

# 『握手』 井上ひさし

～人物像をつかむ～

3年 組 番 ( )

【学習範囲・準備するもの】

- ①教科書 P18～30
- ②ワーク（よくわかる国語の学習）P7～16
- ③学習漢字ノート P4～5

**進め方の例** 内容的に4～5時間くらいに相当すると思います。まず全体を把握して計画を立ててください。  
1コマ目…**例題**・**作品の通読**・**読解①** 2コマ目…**読解②③④**  
3コマ目…ワークP7～16 4コマ目…学習漢字ノートP4～5 + 教科書P30  
5コマ目…終わらなかった範囲。（時間があれば最後の批評文の下書き。課題ではありません。）

※この課題は次の相談日に提出です。再開後の授業まで、学校で保管します。

※ワークと学習漢字ノートは学校が再開してから提出の予定です。

目標 ①色々な描写から人物像をつかむ。

②「わたし」の最後の行動について自分の考えをもつ。

**例題**

まずは肩慣らし。次の文から、人物像を読み取りましょう。

祐介は、自分の悪口は我慢して聞いていた。だが、年上の子どもたちが、祐介のお母さんのことも悪く言った時、泣きながらその子たちに飛びかかっていった。

祐介の人物像　　くな少年だ。という風に二つほど書いてみましょう。

○ ○

この文だけだと、詳しい状況が分かりませんが、ざっくりと次のような人物像が考えられると思います。

○お母さん想いで、お母さんをばかにされることが許せない少年だ。

○自分の悪口を言われても我慢できる、辛抱強い少年だ。

○お母さんの悪口を言われると感情が爆発してしまうほどお母さんが大好きな少年だ。

○お母さん想いだ、一方で感情的になって暴れてしまう一面もある少年だ。

このように、短い文章から、人物像を分析できます。今回の目標の人物像をつかむ、につながります。

**作品の通読**

次に、登場人物の人物像が分かるような表現に線を引きながら、この作品を読みましょう。



朗読音声を聴きたい人は上のQRコードを読み取るか、

六中ホームページの授業のページから探してください。朗読時間は二十三分です。

★★★読解①～④の答え方の例は、この課題のp5・6に載っています★★★

小説では、繰り返し登場するものが変化したり、あるいはずっと変化しなかったりします。そのこと何らかの意味があります。それをつかみましょう。

**読解①**

物語に登場する三回の握手について、それぞれ考えまじょう。(文章読解)

ページ・行	誰の・どんな想いが読み取れるか。
① P19 15行	
② P20・2行	
③ P26 17行	

## 読解②

ルロイ修道士の人物像を、それぞれの描写から読み取って書こう。(文章読解)

描写 p20 8行	園長でありながら、ルロイ修道士は訪問客との会見やデスクワークを避けていた。たいていは裏の畑や鶏舎にいて、子供たちの食料を作ることに精を出していた
人物像	
描写 p21 20行	総理大臣のようなことを言っではいけませんよ。だいたい、日本人を代表してものを言ったりするのは傲慢です。それに、日本人とかカナダ人とかアメリカ人といったようなものがあると信じてはなりません。一人一人の人間がいる、それだけのことですから。
人物像	
描写 p25 19行	上川君はいけない運転手です。けれども、そういうときがわたしにはいっとう楽しいのですね。
人物像	

## 読解③

その他にも、ルロイ修道士の人物像が読み取れる表現を探し、読み取った内容を書いてみよう。

描写 ( ( ページ ) ( 行目 ) ) ( ページ ) ( 行目 )	人物像↓
描写 ( ( ページ ) ( 行目 ) ) ( ページ ) ( 行目 )	人物像↓
描写 ( ( ページ ) ( 行目 ) ) ( ページ ) ( 行目 )	人物像↓

読解④

p二十八・五行目 (自分の考えをもつ)

ルロイ修道士の葬式で、天使園の子どもたちもだちが会って回っていたころ、ルロイ修道士は身体中が悪い腫瘍の薬に  
なっていたことを聞いたとき、「わたしは知らぬ間」「西手の人差し指を交差させ、せわしく打ちつけていた」と  
あります。「この指の動きは、ルロイ修道士の」お前は悪い子だ」といつか危険信号です。

注意!

ワークの十二ページの10の(2)は、「わたしと同様の問題ですが、あはれあはれまげべーの解釈として  
よくなっています。

① 誰に対して ( ) )

② 考えられる「わたし」の心情


語句

よくわかる国語の学習p88・9にない語句を載せます。ぜひ覚えてください。

- ・ 厄介(やっかい)になる…世話になる
- ・ 収容…人や物がある場所や施設に入れること。
- ・ 郊外…都市の周辺にある地域のこと。場合によっては森林や川、田畑などが多い地域を指す。
- ・ デスクワーク…書類を作るなど、人と会わず一人で机(デスク)に座って行う仕事。
- ・ せわしい、せわしない…落ちつかない様子、忙しそうにする様子。「忙しい」「忙しい」
- ・ 腫瘍(しゅよう)…体内の組織、細胞が限度を超えて増殖してできたもの。

三十一ページ・漢字を確認しよう 答え

1 ① (ア) (つまびく) (イ) (つめ) ② (ア) (にわとり) (イ) (けいらん) ③ (ア) (おだやか) (イ) (おんびん)

※ちなみに「麓」は「ふもと」と読みます。

2 ① (ア) (鑑賞) (イ) (監視) ② (ア) (開墾) (イ) (懇意) ③ (ア) (貫徹) (イ) (撤去) ④ (ア) (妊娠) (イ) (任務)

3 ① 忌避(きび) 念情(ねんじょう) 悦楽(えつらく) 休憩(きゅうけい)

② 捜査(さうさ) 措置(そち) 拘束(こうそく)

新しく習った単語

① 映える…際立って美しく見える様子、景色と調和して一段と美しく見える様子。

② 初める…「明け初める」は夜が明け始めること。

③ 生い…「生い立ち」①育つこと、成長すること。②どのように育ったか、成長の過程。

教科書の例文では②の意味になります。

④ 後れ…「気後れ」は、自信を無くす、おぼろげに思込みする様子。



読解①～④の林の考えた例です。あくまで個人的な読みです。考え方や書き方の例としてください。

読解①

ページ・行	誰の・どんな想
① P19 15行	初めての場所に来て不安を抱えている子どもに対して、ルロイ修道士は自分の精一杯の愛情で包み込もうとしている。個性的な握手をするこで、自分の個性を出しているのだというルロイ修道士なりの励ましを含んだメッセージ。
② P20・2行	ルロイ修道士の、天使園の子どもが社会に出て立派にやっていることに安心している気持ち。もう励ます必要がなく、穏やかな気持ち。
③ P20・ 17行	もしかしてこれが最後ののではないかと不安をかき消すゆづな想い。他にゆづなはよいかわからない。また、自分は社会に出て頑張っているから安心してゆづなというメッセージを、昔のルロイ修道士をまねて表している。元氣のない先生を励ます。少しでも長く先生と触れ合っていたかった。

読解②

描写 P20 8行	園長でありながら、ルロイ修道士は訪問客との会見やデスクワークを避けていた。たいていは裏の畑や鶏舎にいて、子供たちの食料を作ることに精を出していた
人物像	少しでも子どもたちのためになるようにと労働に励む、子ども想いの人物。 労働を惜しまない、愛情深い人物。
描写 P21 20行	総理大臣のようなことを言っははいけませんよ。だいたい、日本人を代表してものを言ったりするのは傲慢です。それに、日本人とかカナダ人とかアメリカ人といったようなものがあると信じてはなりません。一人一人の人間がいる、それだけのこですから。
人物像	常に謙虚であってほしいという願いをもつ人物。 国籍ではなく、その人がどんな人物なのかという視点で人を見る人物。
P25 19行	上川君はいけない運転手です。けれども、そういうときがわたしにはいいと楽しいですね。
人物像	天使園で育った子どもが社会で一人前の仕事をし、また、自分に対しての愛情を示してくれることに幸せを感じる人物。また、天使園に来た子どもが明るさをもって生きていることを何より喜ぶ人物。上川君がバスをぶんぶん飛ばしたり、勝手に天使園の前で停めたりすることを喜ぶお茶目な一面ももつ。型にはまりきらない人。

読解③

描写 (二十一 (ページ) 十一 (行目) ) ( (ページ) 十二 (行目)	人物像→国籍は関係なく、子どもたちが食事をできることを嬉しく思う人物。敗戦国の子どもたちに少しでも健やかに育てほしいという想いをもつ人物。
描写 (二十六 (ページ) 十三 (行目) ) ( (ページ) 十四 (行目)	人物像→自分が病にかかっていて、天使園から集立った子どもたちにお別れを言いに来ていることがばわてしまっていることが見つかつたときの子どもの顔を赤くしてこる。お茶目な子どもはゆづなもあんなにかわいげな人物であることが分かる。

① 誰に対して ↓ 自分

② 考えられる「わたし」の心情

わたしは、なぜ最後の別れと気づいていながら、感謝の言葉を伝えなかったのか、自分への怒りと後悔を抱えているのではないか。お別れなのですねとは言えなかったが、最後には思い切って「死ぬのは怖くないですか」と聞いた。その時「、僕は元気だから大丈夫です、あさがとっくに死んでしまっ、と、という想いを込めて力強い握手をしたつもりだったが、もっとはっきりと感謝を伝え、自分は頑張っていると思いますと伝えるべきだった。自分のふがいなみや、やるせなさを表しているのではないか。

文章や芸術作品を批評する

小説・評論文の例

表現技法	比較が多く印象的に伝わる。
人物の設定	〇という人物のことで夫公の性格がより強調される。
場面や構成	回想の挿入により、当時と今の二つの視点で描ける。
文体の特徴	短い文の連続で緊張感が伝わる。
語り手	一人称の視点により、視点の特定
人物の設定	人物の心情を細やかに描く。

1 観点を定めて分析する

分析したことを根拠として、作品の価値を論じる

この作品の魅力は、人物像や情懷、人物の心情を透る価値を、魅力を論じる。

文体的特徴	語りかける口調に引き込まれる。
書きの選び方や説明	たとえば豊富でイメージしやすい。
具体例根拠の示し方	数値が示してあり説得力がある。
論理の展開の仕方	反対意見もふまえてあり納得できる。

評論の観点

例

小説の実例

**初め**  
ヘルマン・ヘッセの「少年の日の思い出」は、「僕の少年時代のやるせな作品について簡潔に紹介している。

**中(なが)**  
「僕」が「話すのも恥ずかしいことだがと切り出し、回想するかたちで思い出が語られている。この構成によって、「僕」の苦しみは少年当時のものだけにではなく、大人になった今でも彼の心を痛め続けていたということが伝

**終わり**  
「僕」のやるせない複雑な心情までも実に感豊かに描き出していることが、この作品のすばらしさである。

評論の実例

**初め**  
この文章は手紙の利点を述べている。

**中(なが)**  
筆者自身の体験を根拠としており、それが身近であり誰でも想像できることなので説得力がある。たとえば、「…(中略)…」という内容だ。また、電話やメールとの比較…(略)…このように根拠がわかりやすくしている。

**終わり**  
が明確に伝わる文章である。また比較が効果的であるため、主張

根拠の示し方  
ことなので説得力がある。たとえば、電話やメールとの比較…(略)…このように根拠がわかりやすくしている。

**初め**  
この文章は手紙の利点を述べている。

映画や音楽などの作品にも応用できる。

テーマ例と分析の観点(芸術作品)

**音楽・アニメ**  
音楽・舞台設計 風景やつづきが人物の心情をうまくしている。

**構成・カメラワーク**  
後半に行くにつれて展開が加速し画面も迫力を増す。

**配役** 俳優の物々しさがざわやかな世界を主題 物々しさを問う。

**音楽**  
歌詞・構成・強弱・リズム・テーマなど歌手の歌い方、ビートの質量など

**比較が効果的!**  
表現の工夫や効果を考えるときは、そうではない場合を想像して比べてみるのをおツ。

・回想がなかったら何か描けなかったか、  
・この具体例がなかったら、何が伝わらなかったか  
お二匹のうたが二匹のうただったか…



分析から評価へ(評価の基準)

受け手(読む人・見る人)に巧みな配慮をしよう  
何がどのように伝わるか  
どのような影響を及ぼすか  
受け手がどう感じるか